

## 燦々便り 77

### 想像力

こんにちは。皆さんはテニスの試合に参加すること、どのようにとらえていますか？

私達のローカルテニスでは、試合は生活のいろいろだと思っています。

試合と言えば、勝たなきゃ！が来てしまうかも。でも勝つ確率は2分の1、決勝まで行くとすると、その確率はどんどん下がります。

決勝で負けるなら、1回戦で負けたのと同じ！勝たなきゃ楽しくない！など、勝負に対する厳しい言葉はいっぱいあります。

そのような厳しさを横目で見ながら、生活のいろいろとして、取りいれていこうとするのがローカルテニスの良さです。

皆さんは小さい頃から、おとぎ話を聞いたり、本を読んだりしませんでしたか？

私はテニスの試合での30分なり、1時間はドラマだと思って、楽しむのを想像するのが好きです。これも筋書きのないドラマ、ではありませんか？

勝つか負けるか初めにわかった試合は少しつまらないです。

その瞬間、瞬間の心理状態を楽しんだり、相手との駆け引きを読もうとしてみたり、ペアとの意気が合う時、合わない時、なんでこんな事してしまうの！（自分に腹立てます）

書ききれないほど、試合の中でドラマがあると思いませんか？

これは、試合に出なければできません。

先日、コロナの自粛時間、片付けをされていて、金子みすゞの詩集を見つけました。

その中の1つ紹介したいと思います。

私達はおとぎ話や物語で、悪い者が成敗されたり、努力が実るなど、成功体験が当たり前と思っていまいませんか？

金子みすゞという人の優しさを読むことが出来て、人は、勝った後、負けた後、成功した後、が大切なのだなと思いました。死ぬまで勉強ですね。

こぶとりじいさん おはなしのうた

正直じいさんこぶがなく  
なんだかさびしくなりました  
意地悪じいさんこぶがふえ、  
毎日わいわい泣いています

正直じいさんお見舞いだ  
わたしのこぶがついたとは  
やれやれほんとにお気のどく  
も一度、一しょにまいりましょ。

山から出てきた二人づれ  
正直じいさんこぶ一つ  
意地悪じいさんこぶ一つ  
二人でにこにこわらった。

## お知らせ

### 能勢杯

コロナも少し落ち着いている今  
最終戦を迎えました。  
今年中に終えるべくよろしくお願いします。

### すばる杯

10月22日  
秋晴れのなか、無事終わりました。  
久しぶりの大会でした。楽しめたでしょうか

### 燦々カップ 予定

11月19日(金)

12月17日(金)

2022年1月28日(金)

場所 野洲河川コート

10時半スタート

**申し込み受付中**